

地区名（ 岡崎・吉田・聖護院 ） 地域幹事氏名（ 齊藤靖子・鈴木美智子 ）地域研修会開催報告書

開催年月日	平成 29 年 7 月 8 日 13 時 00 分～14 時 30 分		
開催会場	京都市立錦林小学校 ふれあいサロン		
出席者	保護司名	鞍谷秀郎・岡村吉純・橋本周現・齊藤靖子・鈴木美智子	合計 10 名
	関係団体名とその人数	左京南更生保護女性会 4 名 錦林小学校 西岡教頭先生	内保護司 5 名
テーマ	“川端署管内での最近の情勢について” “最近のニュースについて感じること”－みんなで考えよう－		
研修内容 ・集会活動	<p>川端警察署 生活安全課長 藤井氏を講師にお迎えして上記テーマで講演会を開催した。</p> <p>京都府内の治安が最悪だったのは平成 14 年頃で、大小含めて年間 65000 件もの犯罪があった。平成 28 年の犯罪件数は約 2 万件と 3 分の 1 以下に減少している。川端署管内でも平成 19 年に 951 件だったのが平成 28 年には 424 件となっている。</p> <p>ただし、川端署管内の 5 分の 1 の面積を占める、京都大学とその関連施設での犯罪だけは 5 年前も現在も年間 200 件程と減少しない。</p> <p>これは、ずっと地元に住み続けている人たちと違い、学生が入れ替わることによる危機意識の欠如が原因ではないかと考えられる。</p> <p>特に犯罪件数の多い自転車盗と特殊詐欺についての注意すべき点。</p> <p>自転車盗に合わないためには、施錠を習慣化すること。鍵を 2 個つけるとリスクがかなり減る。特殊詐欺については、被害者一人当たりの被害額は減っているが、被害者数は非常に増えている。手口も巧妙になり、金融機関から振込させるのではなく、職員の目の少ないコンビニやスーパーの ATM から振込させることが増えている。こういった犯罪を減らすためには地域の人の協力・声掛けが重要である。</p> <p>また京都府警の取り組みとして、万引きをした少年が再非行をしないように立ち直り支援を行っている。生活安全課が個人に合った支援を行うことで再非行をかなり減らせている。</p> <p>最近のニュースについて感じることとして、警戒警報が出ているような豪雨の際の行動について経験に基づくお話をしていただいたり、参加者からも地域のことについて要望や質問が出たり、地域の安全について全員で考えるよい機会となった。</p>		